



休刊 大衆 第三日 定額 五十銭 郵税 十銭 廣告料 二行半 指定 毎週 印刷 運 沼 龍 輔 發行所 盤城新聞社

能狂言に就て

喜多 狂生

能といふ藝術が我國獨自に惜しみて除りあること
の完成された型の藝術であらう。云はなければならぬ泉流
の歌謡の淵源であり、狂言師として師の名聲は
かつて我無藝藝術の粹といふより、狂言師として師の名聲は
能といふは、能の藝術の地位をいふより、狂言師として師の名聲は
能といふは、能の藝術の地位をいふより、狂言師として師の名聲は
能といふは、能の藝術の地位をいふより、狂言師として師の名聲は

民謠漫談 (下)

地 夢 生

昔昔機に入つてゐる追分して竹内氏の追分は譜と
を聴いた東北の人は感心して立派かも知れぬが惜むら
まいと思ふ。たゞへ吹込者には追分の精神を没却して
か北海道の藝者であつても居る「所謂追分」である
歌目である。其の譜は後に大書を記憶してゐる
分、とすると、昔昔機 追分 追分 追分 追分 追分
分、とすると、昔昔機 追分 追分 追分 追分 追分
分、とすると、昔昔機 追分 追分 追分 追分 追分

幕末狂言

宮野 歌春

（155） 渡邊 歌春
宮野 歌春
幕末狂言の歴史を考へて、その中から、
分人数が考へられた。その中から、
分人数が考へられた。その中から、
分人数が考へられた。その中から、
分人数が考へられた。その中から、



古拾に五色染分の袴を此の名は勇の勇名で江戸出
がけ白木綿の袴を着て立の時から斯く稱してゐた
服引脚袴草鞋がけ帯の上へのである。自分と六人は

能狂言に就て 喜多 狂生
民謠漫談 (下) 地 夢 生
幕末狂言 宮野 歌春

古拾に五色染分の袴を此の名は勇の勇名で江戸出
がけ白木綿の袴を着て立の時から斯く稱してゐた
服引脚袴草鞋がけ帯の上へのである。自分と六人は

躍進!
品質優秀なる
イワキ石鹼
半打入 五拾銭
一月三十一日より向一週間は聯合賣出
し中に付二箱に對し福引券を差上げます
ツルヤ商店
電話百四十番

安全第一
諸債券、公債、御用ハ迅速簡易ヲ
モットードナル弊店ヲ精工御利用ノガイ
營業
勸業債券 兩替
復興債券 金融
公債其他 取扱
質物一般
課目
防寒用には
丈夫で暖い
英國製毛糸
一オンス 二十九銭
二オンス 二十五銭
材料 手
店系ヤトモシハ
町田町平

高久病院
平町田町
電話五三三番

大谷時計病院
平三 電一九番

變つた賣り出し
景品などの原價提供
二月一日より十日まで
お買物はどうぞ三井へ (開店午前一時)
午前五時マデ景品の外に福袋呈上
舊正月二日吉例大景品附初賣出し
大巾ネル切大廉賣
三井呉服店
御正月の御祝に
可愛お嬢様のすきなキネマ女優や
昭和童謡入りのお優美羽子板
坊帳も御存じの武人形入り
破魔弓 羽子板
御買上高一圓毎に福引券を呈上
平町四丁目電話七二二番
スガノヤ提灯店
年未年始の御贈答品は是非
酒の瓶詰
へ御用命下さい
永山酒造店小賣部
平町四丁目(平野通り)
電話二一〇七番

自慢の御菓子
經濟と實用を兼ねた一等品としての
自信を誇る弊社製のお菓子は
御家庭用に!
御進物用に!
▽尼子殿中▽時雨の松
▽名物▽豆▽平の友
▽名物▽花▽菊の友
▽名物▽花▽菊の友
▽名物▽花▽菊の友
市内各菓子店で發賣
是非御愛用を願上ます
平製菓株式會社
電話三六〇番

佐藤材木店
常盤線平町新川町
電話三三五番

内臓外科 專門藤本 順
整形外科
婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町
婦人科 木村 醫院
電話一六四番

